

2021年4月20日

日本ユニシス 事業継続を「情報共有」によって支援する クローノロジー型情報共有ツール「災害ネット」の新バージョンを提供開始 ～ニューノーマル時代に即したリモートでの部署間情報共有を支援～

日本ユニシスは、お客さまからお寄せ頂いた声をもとに改善および機能追加を反映した、クローノロジー型危機管理情報共有システム「災害ネット」の新バージョンを本日から提供開始します。

「災害ネット」は情報が錯そうする緊急時の情報共有・記録・管理のためにご利用頂くことに特化したサービスです。電話などで受け付けた情報を、ホワイトボードに書くように入力するだけですべての情報が時系列で集約されるため、取り纏めや資料作成に要する手間と時間を大幅に削減できます。新バージョンでは、ユーザビリティ向上のため操作性を改善したほか、集約した情報の絞り込み機能を拡張しました。

「災害ネット」は新型コロナウイルス（COVID-19）の流行下において、リモートでの情報共有を必要とする企業・団体に適したサービスです。日本ユニシスはニューノーマル時代の新しい生活様式と働き方への変革が求められるなか生じるさまざまな困難に、未来の社会を支えるデジタルテクノロジーとサービスを携え、皆さまと共に社会課題に向き合っていきます。

日本ユニシスは2015年4月から「災害ネット」のサービス提供を開始し、以来エネルギー事業者様、鉄道・空運事業者、銀行業、製造業、ビル管理事業者など、さまざまな業種・業界の企業・団体に採用頂いています。

「災害ネット」は、導入後も定期的にお客さまのご要望をヒアリングし、バージョンアップを重ねています。今回は「ユーザビリティ（使い勝手）の向上」を主たるテーマとして改善および機能追加を実施しました。

【バージョンアップの概要】

今回のバージョンアップは従来の「災害ネット」で顕在化していた下記の課題に関し、変更を行いました。

1. ログイン後の動線を変更。初めて操作する人でもより直感的に使用可能
→ ボタンの数を減らすことにより、動線をこれまで以上にシンプルにしました。
2. 集計表機能^(注1)に入力操作に限定した権限を追加し、利用用途を拡大可能
→ 新たな権限設定を追加することにより、入力に徹する利用者と入力された情報から判断をする利用者を明確に分けることができるようになりました。
3. 集計表機能に対応が必要な拠点の絞り込みを追加、素早い判断へ繋げることが可能
→ 集約した項目ごとに絞り込みができる機能を実装し、被害や問題のある拠点のみをピックアップして可視化できるようになりました。また、ヘッダー行を固定できるようになり、拠点数が増えた場合にも見やすい画面イメージとなりました。

<画面イメージ>

拠点被害状況

地区: 全拠点名 ステータス: 全て 2019年6月1日 関東地方 CSVエクスポート

No.	拠点名	コメント有無	ステータス	日時	人的被害	操業可否	電気	ガス	電話
1	A地区								
1-1	工場 1		指定なし		なし	不明	無事	不明	使用不可
1-2	工場 2		指定なし		なし	可	無事	無事	無事
1-3	工場 3		指定なし		軽傷	可	不明	無事	不明
1-4	工場 4		指定なし		なし	可	無事	無事	使用不可
2	B地区								

デフォルトでは「指定なし」が選択されています。

赤を選択すると

「赤」の項目がある拠点のみを絞り込んで表示することができるため、これまでよりさらに迅速な集計・可視化が可能です。

また、対応ブラウザとして「Microsoft New Edge」と「Firefox」を追加し、ブラウザをアップデートした企業・団体にも安心してお使い頂けるようになりました。

【本サービスの利用効果と利用イメージ】

「災害ネット」は、収集した情報をホワイトボードなどに時系列で記録する手法「クロノロジー」をそのままシステム化したシンプルな情報共有サービスです。「入ってきた情報を、入ってきたまま、記録するだけ」で、現場への負荷を最小限にしながら、簡単にすべての情報を集約できます。

<効果>

- ▶三密を避けテレワークで災害対応を行いたいが、職場に行かないと状況が理解できないので出勤せざるを得ない。
→パソコンやスマートフォンからアクセスできるので、自宅から現場の情報を把握することができます。利用にあたって、アプリなどのダウンロードは必要ありません。
- ▶受け付けた情報をメモやホワイトボード、Excelなどに記録をしているが、集約に時間がかかる。
→ホワイトボードに書くように入力するだけでシステム上に情報が集まるので、これまで情報を集約するのにかけていた時間を大幅に削減できます。
- ▶すぐに利用したいが、ユーザーに教育をしている時間がない。
→シンプルな操作性なので、ITが得意でない人でも迷いなくスムーズに利用できます。

<利用イメージ>



【無償提供について】

新バージョンのリリースに伴い、「災害ネット」の導入を検討しているお客さまには、操作性や運用をご確認頂けるよう無償提供を実施します。

提供サービス	クロノロジー型危機管理情報共有システム「災害ネット」
お申込み受付期間	2021年4月20日（火）から2021年7月16日（金）まで
無償提供期間	2021年7月30日（金）まで ※無償提供期間終了後も有償サービスに切り替えて利用継続可能です。 尚、有償サービスに切り替えない場合でも、登録データを出力してご提供可能です。
対象企業／団体	現在本サービスを契約されていない、または無償利用をしていない 全国の企業、官公庁・自治体、団体 ※過去に無償提供を受けたことのある団体は担当まで個別にご相談ください。

●利用開始までの流れ

下記問い合わせフォームよりご連絡を頂いたのち、当社担当者から Web 会議でのデモンストレーションとヒアリングを実施いたします。1 時間程度の打合せを行ったのち、数日以内に環境を準備のうえ、ご案内いたします。

※お申込み多数の場合にはサービス開始まで時間がかかる場合があります。

●サービスの詳細

サービスの詳細は下記ページをご参照ください。

- ・クロノロジー型 危機管理情報共有システム「災害ネット」 説明ページ
<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/disaster-net/lp/>

●お問い合わせ・お申込み方法

下記お問い合わせフォームよりご連絡ください。当社担当者よりご連絡をさせていただきます。

https://www.unisys.co.jp/inqsys/inquiry_form.html?product_id=985

以上

注 1：集計表機能

拠点や店舗などの状況を現地から報告させ自動で一覧化、ステータスに応じて色分けして表示する機能。

■関連リンク：

- ・クロノロジー型 危機管理情報共有システム「災害ネット」
<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/disaster-net/lp/>
- ・ニュースリリース「長崎空港ビルディング、日本ユニシス with コロナにおける、地域に根差した安全・安心な空港運営を実現！クロノロジー型危機管理情報共有システム「災害ネット」の運用をスタート」
https://www.unisys.co.jp/news/nr_201221_nagasakiairport.pdf

- ・インタビュー前編「クロノロジーによる災害時の情報管理・運用の核心～災害ネットの生みの親”横須賀市様がクロノロジーによる災害時の情報管理・運用の核心を語る」
<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/disaster-net/lp/interview/interview01.html>
- ・インタビュー後編「クロノロジーによる災害時の情報管理・運用の核心～緊急時にこそ的確な情報管理が必要になる！」
<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/disaster-net/lp/interview/interview02.html>
- ・コラム
【バーチャル災害対策本部のススメ】 COVID-19／テレワークで変わる災害対応
<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/disaster-net/lp/column/column03.html>

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/